

横浜市少年自然の家指定管理者の第三者評価結果について

I 評価結果

- 指定管理者の日頃の運営努力が認められ、おおむね高い評価となった。
- 両施設とも共通してC評価となった項目は、Wi-Fi環境の整備及び自主事業の収入実績の項目。
- Wi-Fi環境については、利用者からのアンケートでも要望があるが、現状整備できていない。また、主に新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となり、計画通りの収入が得られなかった。

少年自然の家赤城林間学園

A評価	25
B評価	70
C評価	5
D評価	0

少年自然の家南伊豆臨海学園

A評価	6
B評価	91
C評価	3
D評価	0

II 評価にあたっての考え方と進め方

- 指定管理者選定時に指定管理者が横浜市に提出した提案書の内容を基本として、施設の設置目的や特性を踏まえて、評価項目を定めた。
- 評価項目毎に達成状況等を確認し、下記の4段階の評価基準を設けた。
- 事業報告書、財務関係書類及び指定管理者が記入した自己評価等を基礎資料とするとともに、施設視察及び指定管理者へのヒアリングを行い、評価を実施した。

A評価

共通業務の基準や提案書等に記載された水準に照らし合わせて十分な状態

B評価

共通業務の基準や提案書等に記載された水準に照らし合わせておおむね十分な状態

C評価

共通業務の基準や提案書等に記載された水準に照らし合わせてやや改善の必要が認められる状態

D評価

共通業務の基準や提案書等に記載された水準に照らし合わせて大きく改善が必要な状態

評価項目（全100項目）

- 管理運営の基本方針及び運営体制
- 施設・設備の維持管理
- 運営及びサービスの質の向上
- 安全管理
- 地元との交流・連携
- 指定管理料の執行状況
- その他

選定評価委員

委員長	松葉 玲子	横浜国立大学教育学部教授
委員	青柳 寛子	横浜市PTA連絡協議会副会長
委員	一瀬 克巳	特定非営利活動法人日本技術マネジメント協会会員
委員	川本 和孝	玉川大学TAPセンター准教授
委員	辺見 伸一	横浜市青少年指導員連絡協議会会長

開催日・内容

- 第1回委員会 10月4日（火） 第三者評価の手法、評価シートについて
- 第2回委員会 11月15日（火） 施設及び業務の概要説明、施設視察、指定管理者へのヒアリング
- 第3回委員会 12月6日（火） 施設及び業務の概要説明、施設視察、指定管理者へのヒアリング
- 第4回委員会 2月17日（金） 評価のまとめについて